

「生産性の船」とは … 洋上研修の先駆けとして1971年に研修を開始。参加総数は5万名以上にのぼります。

2026年度 生産性の船 「行動変革への挑戦」



1号船 2026年11月10日|火|→ 11月16日|月| 7日間

申込締切日： 7月28日|火|

2号船 2027年 1月17日|日|→ 1月23日|土| 7日間

申込締切日： 9月30日|水|

<訪問都市> シンガポール、マレーシア(ペナン)、タイ(プーケット)

研修日程

【本研修】 1号船 2026年11月10日|火|～11月16日|月| 計7日間
 2号船 2027年 1月17日|日|～ 1月23日|土| 計7日間

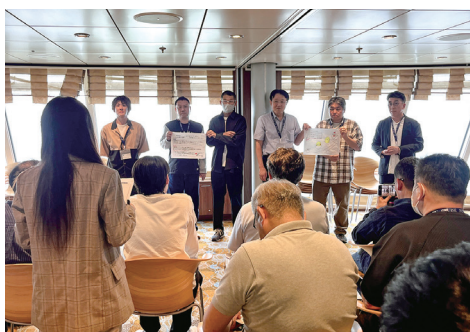
【事前研修】 1号船 2026年 9月15日|火| 受付 9:30 研修 10:00～17:00
 2号船 2026年11月27日|金| 受付 9:30 研修 10:00～17:00

会場：「ビジョンセンター赤坂(永田町)」 東京都千代田区永田町1-11-28 合人社東京永田町ビル

【募集定員】 1号船 90名(管理者コース 30名、チームリーダー/中堅社員コース 60名)
 2号船 60名(管理者コース 30名、チームリーダー/中堅社員コース 30名)

【使用客船】 ロイヤルカリビアン社「ナビゲーター・オブ・ザ・シーズ」
 総トン数：139,999トン、全長：310m、全幅：48m、乗客定員：3,386名

1号船 11月	2号船 1月	研修	スケジュール	宿泊
10日(火)	17日(日)	—	昼：オリエンテーション 日本出発(羽田又は関空) → <シンガポール>シンガポール到着	ホテル泊
11日(水)	18日(月)	現地研修	<シンガポール> 終日：自主研修	ホテル泊
12日(木)	19日(火)	船内研修	<シンガポール> コース別研修 乗船・シンガポール出発/船内コース別研修	船泊
13日(金)	20日(水)		船内コース別研修 午後：<マレーシア>ペナン寄港	船泊
14日(土)	21日(木)		午前：船内コース別研修 午後：<タイ>プーケット現地研修	船泊
15日(日)	22日(金)		船内コース別研修 成果発表交流会 <終日航海>	船泊
16日(月)	23日(土)	現地研修	シンガポール到着・下船 午前：企業訪問及び産業・文化視察 午後：シンガポール出発 → 夜：日本帰国(羽田又は関空)	—



「生産性の船」の特徴

- ▶非日常的な空間・時間・人間関係の中に身を置くことで、日常の業務や様々なしがらみ、固定観念から解放され、自らを見つめ直すことができます。
- ▶初めて出会う他者と寝食を共にする密度の濃い時間を通じて、自らの考えや経験を自由かつ率直に語り合うことにより、相互に刺激・啓発しあうことができます。
- ▶自国内では容易に作り出すことのできない空間に身を置き、多様性を理解しながら、英語をはじめとする様々な異文化コミュニケーションに挑戦することで、新しいことにチャレンジする思いが芽生えます。

生産性の船とは…

生産性運動15周年記念事業の一つとして1971年に研修を開始し、50年以上にわたる実績を誇ります。洋上研修の先駆けとしてリーダー層育成の場を提供し続け、団員総数は54,777名にのびます。2026年度も、前年度に続き企業・組織の管理職やリーダー層を対象に、年2回開催・3か国訪問で開催します。

研修テーマと各コースの特徴

<研修テーマ>

「行動変革への挑戦」 ～新たな価値創造と変革を推進するリーダーシップ～

新しい価値を創造するために必要なリーダーのあり方や「理想の組織・職場」を創り出す道筋を具現化する方法を体得します。

それぞれの職位での果たすべき役割を自ら考え、プロフェッショナルとしての変革・成長へ向けた取り組みにつなげます。

<各コースの特徴>

管理者コース

管理者として、経営戦略や組織コミットメント、技術伝承と部下のキャリア育成、人や組織を動かす仕組みづくりなど、幅広い観点で課題について検討します。

チームリーダー／中堅社員コース

チームリーダー・中堅社員として、チームを動かすために必要な取り組み、職場の課題について検討します。合わせて、リーダーシップ能力向上につながる議論を行います。





事前研修会 (1日)

- 研修全体の概要説明
- チームビルディング／
講義／チーム討議



事前研修会をもって、研修プログラムをスタートします

「行動変革への挑戦」への第一歩

事前学習

- 事前学習1
所属組織や自身の業務について考察し、研修参加の動機づけを明確にします。
- 事前学習2
事前研修会での学びを振り返ります。問題意識を整理すると共に、マインド面においても本研修に臨む準備を行います。

本研修

コース別研修 異業種メンバー間の討議により、自らの組織、職場についての「問題点」と「あるべき姿」を発見します。あるべき姿に向けての「課題」と「解決策」について検討・とりまとめを行い、成果発表を行います。個人としては、行動変革に向けた「アクションプラン（行動宣言）」を作成します。

現 地 研 修 企業訪問および産業・文化視察
企業訪問のほか、産業・文化視察を通して訪問都市の現状・実態を考察します。

経 験 交 流 非日常空間での研修コース・国籍の垣根を越えた交流活動において、自律的・積極的に行動し、自己の視野を広げます。



「行動変革への挑戦」

フィードバック／フォローアップ

- ▶アクションプランをもとに「研修成果報告レポート」をまとめ、研修後の実践に活かします。レポートは帰国後、派遣担当者に送付いたします。
- ▶報告書を作成し、参加者・派遣担当者に送付いたします。また、参加者の皆様には振り返りのための「研修フォローアップシート」を送付し、組織・職場での実践継続に取り組んでいただきます。

自らの組織・職場で「行動変革」の実践継続

研修効果

メインテーマ「行動変革への挑戦」のもと、自身の業務や所属する組織・職場を見直し、成長していくためには何をすべきかを考え、自らが行動を変えて組織（職場）に働きかける「変革志向をもつリーダー」を育成します。

変革に向けての 行動実践

さまざまな異業種メンバーとのチーム討議を通して、自らの業務と組織について深く考えることで、変革に向けて取り組むべき課題が明確になります。

多角的な視野の獲得

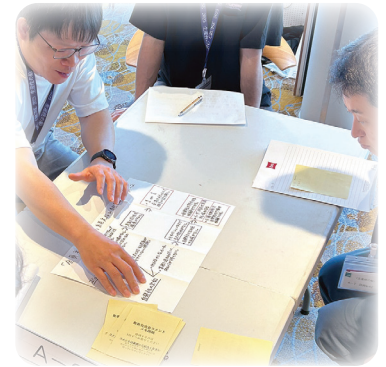
参加者間の交流、非日常空間での異文化経験を通して得られる新たな“気づき”により、より広い視点から物事を捉えることが可能となります。

リーダーに必要な 能力・スキルの習得

リーダーシップ実践に必要なコミュニケーション能力、計画・交渉力、チームシナジー発揮力などのスキルを身につけることができます。

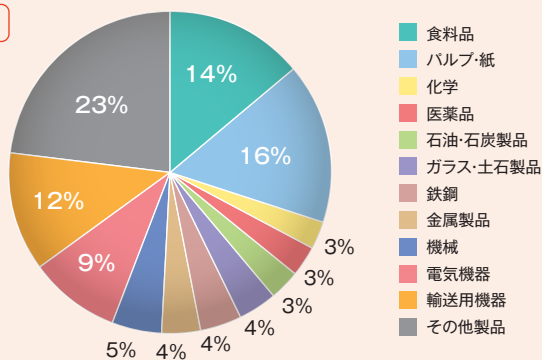


自ら変わり、
周りを巻き込んでいく
熱い思いを持つ
リーダーへ成長

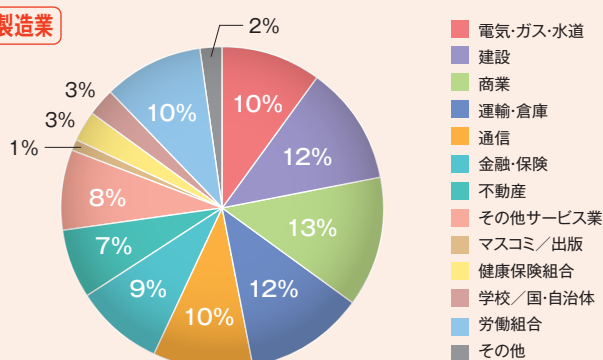


参加組織の産業分類

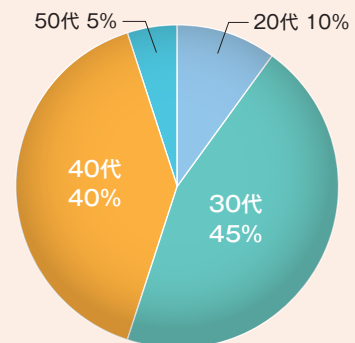
製造業



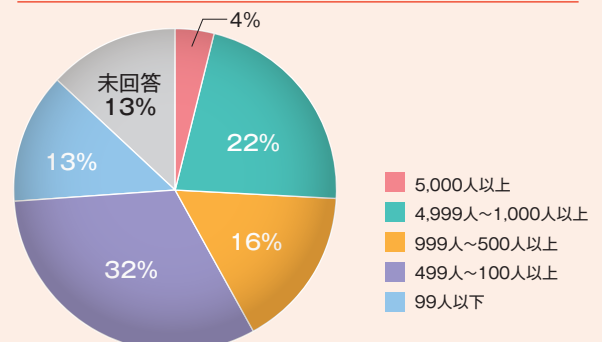
非製造業



参加者の年齢



参加組織の規模



ご派遣組織と参加者の声

ご派遣にあたって参加者に期待する声

- ・ 様々な経験を通じ、視野を広げてほしい
- ・ リーダーシップを発揮するきっかけになればいい
- ・ 自社（自身）を見直す機会にしてほしい
- ・ グローバルを肌で感じてほしい
- ・ 他者（他社）とのネットワークを構築してほしい

ご参加にあたって参加者自身の期待、目的、経験したいこと

- ・ 他者（他社）との経験交流の機会にしたい
- ・ 研修を通じて新しい知識を習得したい
- ・ 職場・家庭・メディア情報を離れて自分を見つめたい
- ・ プレゼンテーションに挑戦したい
- ・ 訪問都市や船上で異文化を体験してみたい



『生産性の船』に
参加して



参加者の声

<海外や船だからこそ新しい経験、普段と全く違う環境で殻を破って理想の自分に>

なぜ海外で、なぜ船で研修するのか？そんな疑問を持ちながら参加したが、終わってみれば、海外や船だからこそ新しい経験が数多くあった。普段とは全く違う環境下だからこそ、殻が破りやすく、理想の自分に近づけたと思う。職場や生活においても、少しずつ自分の殻を破り、なりたい自分づくりをし、目指す職場づくりに少しでも貢献したい。

<まず「体験する」ことが重要、ギャップを五感で感じる>

仕事、プライベート含め、何事も新しいことにチャレンジしてみる、まず「体験する」ことが重要だと感じた。学んだことを活かして「一歩踏み出す、やってみる」を実践したい。寄港地、訪問都市で視察に参加することで、それまで聞いたり、写真を見たりした内容との良い意味でのギャップを五感で感じる事ができた。

<「とことん」取り組むことの重要性を実感>

腹を割って意見をしていかないと、メンバーと自分の間にギャップが生まれてしまう。「共通認識」や「同じ方向性」を作っていくために、自分から発信する必要性を実感した。そして、やるのであれば「とことん」やる。中途半端だとモヤモヤして終わっていたと思うが、全員が全力で取り組んだからこそ、充実した一週間になった。自職場でもまずは自分が「とことん」取り組み、周囲に伝播させていきたい。

お申込からご出発までの手続きの流れ（予定）

	お申込 締切	案内書類 お受取	渡航手続き書類 (パスポートコピー含む) ご提出	ご参加請求書 お受取り	事前研修会	最終案内 書類お受取り	ご参加費等 のお支払期日	オプションツアー 費等のお支払期日	ご出発
1 号 船	7月28日 (火)	8月上旬	8月31日 (月)	9月中旬	9月15日 (火)	10月中旬	10月30日 (金)	10月30日 (金)	11月10日 (火)
2 号 船	9月30日 (水)	10月上旬	10月30日 (金)	11月中旬	11月27日 (金)	12月中旬	12月31日 (木)	12月31日 (木)	2027年 1月17日 (日)

※上記日程は予告なく変更となる場合があります

参加お申込要領

●参加費

参加費(税込)	申込期日
835,000円	1号船 ~7月28日(火)
	2号船 ~9月30日(水)

※訪問都市ホテル、船内とも2人部屋となります。
※シングル(1人部屋)をご希望の場合は、お問い合わせください。
※船内は、窓のあるバルコニー付きの部屋を予定しています。
※上記料金は、当本部賛助会員対象です。
会員外の方は1名当たり100,000円増となります。

●ご参加確定申込締切日

1号船 2026年7月28日(火) 2号船 2026年9月30日(水)

募集人員(定員) 1号船 90名 2号船 60名

※手続き上、上記締切日が参加者氏名登録の締切りとなりますので、お早目のお申込みをお願いいたします。定員満了になり次第、受付を終了します。

※締切日以降のキャンセルは「取消料金」が発生しますのでご注意ください。

※参加者決定が締切日間際になる場合、お早目に事務局までご連絡ください。

※締切日後に「参加者名の変更」「利用空港の変更」をされた場合は、「変更手数料」のご負担をいただきます。

※不測の事態が生じた場合は、訪問都市を変更することがございます。
※出発・帰国空港は、羽田・関西の2空港からお選びいただけますが、利用者が10名に満たない場合、他空港をご利用いただくことがございます。また、利用空港はご希望に沿えない場合がございます。
※フライト状況により羽田空港の離発着が成田空港に変更になることがあります。
(いずれも当本部免費)

●参加資格および条件

- ・所属する企業・組織より推薦された方
 - ・団体生活に適応でき、心身ともに健康でかつ協調性に富み、規律ある行動の出来る方
 - ・利用可能なクレジットカード及びスマートフォンを持参できる方
- ※体調等にご懸念のある方は事前に事務局までご相談下さい。
※ご参加者の役職により申込みコースの確認をさせていただく場合があります。

●お申込み方法

- ・ご参加人数が決まりの場合は「ご参加人数お申込み」欄にご記入のうえ、メールまたはFAXでお送りください。
 - ・参加者がお決まりの場合は「ご参加確定お申込み」欄にご記入のうえ、メールまたはFAXでお送りください。
- ※エクセル入力申込書もご用意しております。下記よりご利用ください。

生産性の船

検索

URL https://www.jpc-net.jp/theme-hierarchy/training_cruises/

- ※ご予約が済みましたらお早めにお申込みください。
- ※「ご参加人数お申込み」をいただいた時点で、「お申込み成立」となります。(仮予約ではありませんのでご注意ください。)

< 個人情報の取扱いについて >

公益財団法人日本生産性本部では、皆様の個人情報を以下のように取扱います。契約内で個人情報について記載がない場合で申込者をご参加者が異なる場合は、ご参加者の同意をいただいた上で、お申込みください。同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。

【本洋上研修の訪問国：シンガポール・タイ・マレーシア(洋上寄港地)】

- ①利用目的 本研修に関する資料作成、連絡、事前資料等の配布、広報資料・映像の作成、開催日の使用、運送・宿泊機関・訪問先等が有するサービスの手配とサービスの受領、イベント・セミナーの開催情報のご案内に利用します。ご連絡・ご案内・情報提供は郵送・宅配等またはWEB・取得したEメール等に行います。
- ②第三者提供 特に申し出がない限り通常業務の必要な範囲(訪問先、講師、参加者等の関係者に限った名簿の配布、運送・宿泊機関及び旅行者のサービスを受領するため等)において第三者に提供させていただきます。
- ③業務委託 本事業にかかわる資料の配布、開催当日の受付、報告書の印刷、ならびに、今回の案内状送付のため、業務の一部を委託しております。委託先にはご本人へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。委託先については本部の選定基準に基づき、委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底すると共に、委託先に対して、適切な

●取消料金

- ①申込締切日以降、出発日の前日から起算し、60日前まで
国内費の100%・海外費の20%
 - ②出発日の前日から起算し、59日以降30日前まで
国内費の100%・海外費の50%
 - ③出発日の前日から起算し、29日以降7日前まで
国内費の100%・海外費の70%
 - ④出発日の前日から起算し、6日前以降の取消し又は不参加
国内費の100%・海外費の100%
- ※本研修出発後の離団または不参加の場合、費用は返金できませんのでご了承下さい。

●参加費に含まれるもの

国内費	50,000円(10%税込 55,000円)
事前研修会費(研修・教材資料費・食事代等)/研修企画費/渡航手続手数料	
海外費(本研修費) ※消費税対象外	
乗船費(チップ代含む)/航空運賃(出国税含む)/訪問都市での宿泊費/本研修中の食事代(訪問都市での一部を除く)/研修・教材費/研修企画費/団体海外旅行傷害保険料	

●参加費に含まれないもの

燃油特別付加運賃(または相当額)・・・本費用は変動費用となり、渡航2ヶ月前を目処に決定し、料金は航空会社により異なります。
任意の海外旅行傷害保険料/旅券印紙代・証紙代/国内交通費・前泊・後泊代/訪問都市でのオプションツアー費/自主研修中の費用/パスポート取得に関わる費用

●お見舞金

参加者が本研修期間中に偶発的な外来の事故により、生命または身体に被られた一定の損害について、当本部を通じて加入保険会社よりお見舞金をお支払いします。

●その他

- 研修企画は日本生産性本部、旅行実施は取扱旅行会社が行います。
- 天変地異、戦争、暴動、社会騒擾、疫病等が発生し、参加者の安全確保および研修実施に支障をきたす恐れがある場合は、企画変更または中止とさせていただきます。また、上記理由による企画中止の際、運送・宿泊機関があらかじめ取消料・違約料を明示していた場合はこれらの合計金額以内を取消料として申し受ける場合があります。
- 運送・宿泊機関等の旅行サービス提供の中止、官公署の命令その他の当本部又は当本部の手配代行者の関与し得ない事由により損害を被った場合、また、参加者の生命又は身体の安全確保のために必要な措置により損害を被った場合、当本部はその損害を賠償する責任を負うものではありません。(航空便の遅延・運休、船内疾病発生による入国制限等)
- 出国前・出国後を問わず、発熱・咳・嘔吐・下痢・倦怠感などの症状がある場合は、速やかに当本部又は当本部の手配代行者にお申し出をお願いします。その場合、症状の程度によっては入国又は乗船出来ない可能性があるとともに、船内においては隔離対応が取られる場合があります。また、当本部又は当本部の手配代行者が必要と判断した場合には現地医療機関を受診いただきます。なお、これに要する費用はお客様の負担となります。(団体海外旅行傷害保険の適用部分を除く)
- 各種感染症については、各国の感染症対策規制、ルール・ガイドラインに従い当研修の旅程管理を行います。お客様が当研修中に、各種感染症に罹患し、または濃厚接触者となった場合など、現地の法令などにに基づき隔離その他の措置が必要となった場合は、その指示に従っていただきます。また、これに要する費用はお客様の負担となります。

管理・監督を行います。

- ④外国にある第三者への個人情報の提供等 個人情報を訪問先等外国にある第三者に提供および外国にある業者に現地業務を委託し手配に必要な個人情報を提供することがあります。当該国又は地域における個人情報の保護に関する制度等は、個人情報保護委員会のホームページで公表されている資料をご参照ください。
(シンガポール共和国) https://www.ppc.go.jp/files/pdf/singapore_report.pdf
(タイ王国) https://www.ppc.go.jp/files/pdf/thailand_report.pdf
(マレーシア) https://www.ppc.go.jp/files/pdf/malaysia_report.pdf
- ⑤安全管理 日本生産性本部は、個人情報の取扱いに関する責任者を設置するとともに、個人情報を取り扱う従業員及び当該従業員が取り扱う個人情報の範囲を明確化し、法や取扱規程に違反している事実または兆候を把握した場合の責任者への報告連絡体制を整備し、運用いたします。
- ⑥本人の権利 今回取得する個人情報について、開示、訂正、削除、利用停止等を求めることが可能です。以下までご連絡ください。

公益財団法人日本生産性本部「生産性の船」係：03-3511-4030

公益財団法人日本生産性本部 個人情報保護管理者 総務部長

賛助会員入会のお勧め (未入会の皆様へ)

公益財団法人日本生産性本部の活動にご賛同・ご協賛いただく賛助会員制度がございます。公開研修プログラムをはじめとする事業参加費の割引など各種特典もございますので、ご入会をお勧めいたします。詳しい内容につきましては、下記担当部署までお気軽にお問い合わせください。

賛助会員担当 生産性運動基盤センター TEL:03-3511-4026 FAX:03-3511-4071

FAX:03-3511-4056

ご参加確定申込締切日

1号船:2026年7月28日(火) / 2号船:2026年9月30日(水)

2026年度「生産性の船」参加申込書

参加者及びご派遣担当者が「個人情報の取扱いについて」(別頁:参加申込要領)に同意したうえで申し込みます。いずれかにチェックをしてください。

同意します 同意しません

組織名:	賛助会員確認欄 該当に○をおつけください			申込日 2026年 月 日
	1:当本部会員	2:全国本部会員	3:未会員	
所在地: 〒	ふりがな			
	お申込責任者名: ご所属・お役職:			
TEL: ()	ふりがな			
	ご派遣担当者名: ご所属・お役職:			
FAX: ()	メールアドレス:			
	夜間・休日の緊急連絡電話番号(必須)*:			

※渡航中の緊急時に対応可能な番号をご記入いただけますようお願いいたします。

エクセル入力申込書もご用意しております。生産性の船URL https://www.jpc-net.jp/theme-hierarchy/training_cruises/ からご利用ください。

①ご参加人数のみお申込みいただき、後日②参加者確定お申込み書をお送りいただいても結構です。
ただし、締切日以降のキャンセルは「取消料金」が発生しますので、ご注意ください。

①ご参加人数お申込み

※お申込み人数をご記入下さい。

「ご参加人数お申込み」をいただいた時点で、「お申込み成立」とさせていただきます。(仮予約欄ではありませんのでご注意ください。)

研修コース	管理者	チームリーダー/中堅	未定	合計
生産性の船 1号船				名
生産性の船 2号船				名

※ご渡航には下記の日にち以上残存期間のある
パスポートが必要です

1号船:2027年5月20日以上
2号船:2027年7月27日以上

②参加者確定お申込み

- ▶本申込書にご記入いただいたご所属・お役職を参加者名簿に掲載します。お申し込み後にご所属先等の変更が生じた場合は別途お知らせ下さい。
- ▶研修コース・性別・パスポート有無・利用希望空港・資料送付先欄は 該当に○をご記入下さい。

号船	研修コース		ふりがな
1号船・2号船	管理者・チームリーダー/中堅		参加者氏名
ご所属部課名・お役職 (出向されている方は現在の勤務先)			ご所属先住所・ご連絡先(〒)
年齢: 歳	性別: 男・女	パスポート: あり・なし	TEL: ()
利用希望空港 羽田・関西		資料送付先 ご派遣担当者・参加者ご本人	E-mail:
号船	研修コース		ふりがな
1号船・2号船	管理者・チームリーダー/中堅		参加者氏名
ご所属部課名・お役職 (出向されている方は現在の勤務先)			ご所属先住所・ご連絡先(〒)
年齢: 歳	性別: 男・女	パスポート: あり・なし	TEL: ()
利用希望空港 羽田・関西		資料送付先 ご派遣担当者・参加者ご本人	E-mail:

お申し込み・お問い合わせ

公益財団法人 日本生産性本部 「生産性の船」係

〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12

生産性の船URL https://www.jpc-net.jp/theme-hierarchy/training_cruises/

生産性の船

検索

E-mail jpc-cruise@jpc-net.jp TEL.03-3511-4030 FAX.03-3511-4056

